



# 虹の架け橋



校訓  
向かい  
共  
錬  
上  
磨  
生

第10号  
R6.9.13発行  
文責 永田 功臣

## 生徒集会を通して感じたこと

10日(火)に生徒集会を実施しました。そこでは夏季休業中に行われた生徒会交流会や小中合同リーダー研修会の報道や2学期のスタートにあたり、全校生徒で意識を共有したいこと、文化祭のテーマに関する発表等がありました。

交流会やリーダー研修会を通して、他校の取組に学び、「**いろんな取組を効果的に行うにはどうしたらよいか**」について、無言清掃をもとにして、みんなで考えました。特に印象に残ったのは、執行部からのまとめの中で出た「**そもそも**」という言葉でした。「**そもそも、この活動は何のためにやっているのか**」など、**その目的を知っておく、意識することが大切だ**とまとめてくれました。活動だけでなく学びにもつながる事です。

「**そもそも今日の授業は～**」「**そもそも何のためにこの実験を～**」と一人一人が意識していれば、先生方が説明するのも少なくなり、主体的な学習が展開できます。



小中合同リーダー研修会

2学期の生徒会の抱負の中にも「**自分で**」や「**相手意識**」という言葉を示してくれました。今年度、大切にしている「**主体性**」「**協働**」につながります。みんなで意識して実践してほしいものです。

また、学習委員会から文化祭のテーマが発表されました。今年度のテーマは

**協奏(きょうそう)**  
～ 奏でよう、みんなのシンフォニー ～

です。競い争うのではなく、協力して奏でる意識を大切にしながら、合唱コンクール等、日々の取組を頑張りたいと思います。パラリンピックが先週末まで行われていましたが、最近「**多様性**」という言葉をよく耳にします。「**みんな違って みんないい**」の言葉通り、文化祭では、それぞれの個性を大切に、得意な部分を発揮して、互いに認め合う活動ができればと思います。

2学期は、生徒会役員選挙もあります。それまでは、現生徒会役員を中心として、今回の生徒集会のように、「**By ourselves(自分たちで)**」自分たちらしい矢部中学校をつくってほしいと願っています。



小中合同リーダー研修会

## 生き方を考える ～ 道徳の授業から ～

11日(水)に1年生の道徳の授業を参観する機会がありました。

「**困った状況に直面したときどうするか**」の問いに対して、激しい風に対する4本の木のしのぎ方を例に、困難への対応の仕方、大きく捉えれば「**自分の生き方**」を考える授業でした。



私自身もどうするか考えさせられましたが、子どもたちも他の人と意見を交流しながら、考えを深めていました。授業を通して、最初の考えとは違うものになった子どもたちもいましたが、**自分らしい生き方をしっかり考えることが大切です**。また、困難をどうにかしてしのぐ「**心の力**」をつけることも大切です。

最後に、担任の池部先生が付け加えられましたが、困ったことは自分以外の誰かに相談する、相談できることも必要です。2学期が始まって約2週間が経ちましたが、学習面や友達との関係、担当している係等で悩みがあったら、まずは相談してみてください。また、学校のことを日頃から家庭でも話題にできるといいですね。

## What's this?

これは、ALTのサンダー先生から学校にいただいたものですが、何に見えますか。母国のオランダの陶器で、**国花であるチューリップ**を挿すための花瓶だそうです。日本の物とは、また違った味わいがあります。外国の文化を学ぶのも「**多様性**」を受け入れるために大切なことですね。たくさんチューリップを挿して飾りたいと思います。



## 保護者への感謝&お願い

8月17日(土)に行われた廃品回収については、前回感謝申し上げますが、その後売上金が**20,570円**との報告がありました。重ねてお礼申し上げます。

ただ、地区の生徒数や回収量も減ってきており、保護者には多大なご負担をおかけしますので、今後の実施については検討の余地があります。

また、**欠席連絡方法**や**学校徴収金の徴収方法**等についても、教頭を中心に現在、改善の方法を探っているところです。アンケートにお答えいただくとともに、ご意見等ありましたら、学校までご連絡くださいますようお願いいたします。